

磐越自動車道 三川～安田間施工計画検討業務

特 記 仕 様 書

令和 7 年 7 月

東日本高速道路株式会社 新潟支社

新潟工事事務所

第1章 総則

1-1 履行内容

1-1-1 調査等名 磐越自動車道 三川～安田間施工計画検討業務

1-1-2 路線名 東北横断自動車道 いわき新潟線

1-1-3 履行箇所 自)新潟県東蒲原郡阿賀町谷沢 (STA.601+80)
至)新潟県新潟市江南区太右エ門新田 (STA.988+42)

1-1-4 主な履行内容

内訳書の項目	数量	備考
附帯工設計		
現地踏査	1 式	
擁壁工設計A	1 断面	
擁壁工設計B	7 断面	
擁壁工設計C	1 断面	
擁壁工設計D	1 断面	
詳細図作成A	29 枚	工事用進入路
詳細図作成B	24 枚	重金等含有土封じ込め設計
詳細図作成C	3 枚	施工中用排水構造物
詳細図作成D	3 枚	施工後用排水構造物
詳細図作成E	3 枚	防雪工
工事発注用図面作成		
図面修正A 1	15 枚	西山トンネル標準断面図 西山トンネル排水工詳細図
図面修正B 1	1 枚	西山トンネル排水工詳細図
設計打合せ	1 式	

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和7年7月版とする。

1-3 履行期間

本業務は、共通仕様書1-1-3「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことが出来るが、現地踏査や打合せを行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から１０日以内に、履行期間通知書（別添１）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）： 契約保証取得の日の翌日から２７０日間（まで）

余裕期間（業務着手期限）： 契約保証取得の日の翌日から６０日間（まで）

１－４ 主任補助監督員の権限

共通仕様書１－６－３の規定に基づき主任補助監督員に委任した権限は次のとおりである。

(1) 共通仕様書に規定する監督員の権限のうち、下表の事項

章	項 目	内 容
１－１３－２	作業日	休日等の作業の確認

１－５ 資料の貸与

共通仕様書１－１５－１及び５－２－３に示す貸与資料は、一覧に示すとおりとする。

ただし、履行期間中の調査等業務について、その成果品等の貸与予定日は下表に示すとおりとする。

なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合の取扱いが監督員と受注者とで協議の上決定するものとする。また、設計を行うため資料の復元等を要する場合は、監督員と協議し定めるものとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
詳細測量成果品	磐越自動車道 長谷地区詳細測量	契約締結後	電子成果品
	磐越自動車道 長谷地区測量業務	契約締結後	電子成果品
詳細設計成果品	磐越自動車道 西山トンネル詳細設計	契約締結後	電子成果品
	磐越自動車道 長谷橋基本詳細設計	契約締結後	電子成果品
盛土場設計成果品	磐越自動車道 安田～新潟中央間盛土場設計	契約締結後	電子成果品
土質調査 成果品	磐越自動車道 長谷地区土質調査	契約締結後	電子成果品
	磐越自動車道 長谷地区土質調査	令和７年９月	電子データ
附帯工設計成果品	磐越自動車道 長谷地区附帯工設計	令和７年１１月	電子データ

1-6 受注者相互の協力

共通仕様書 1-20 の「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知するものとする。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
磐越自動車道 熊渡地区地すべり検討業務	未定	未定	東日本高速道路 (株)	
磐越自動車道 長谷橋構造検討業務	未定	未定	東日本高速道路 (株)	
磐越自動車道 磐越自動車道 長谷地区土質調査	R 7. 9	国土防災技術 (株)	東日本高速道路 (株)	
磐越自動車道 長谷地区附帯工設計	R 7. 11	信和設計 (株)	東日本高速道路 (株)	

1-7 部分使用

共通仕様書 1-36 の規定に基づき部分使用を請求する内容及び使用時期は下表のとおりとする。

内容	使用開始時期	使用理由
詳細図作成D	令和8年1月16日	別途実施する設計業務に使用するため

1-8 計画工程表

1-8-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1 (2) に示す作業計画書中の計画工程表の作成にあたっては、下表の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者とで協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-5 に示す資料の貸与時期、共通仕様書 1-9-3 に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1-22 に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項目	備考
附帯工設計	現地踏査	
	擁壁工設計A	
	擁壁工設計B	
	擁壁工設計C	
	擁壁工設計D	
	詳細図作成A	工事用進入路
	詳細図作成B	重金封じ込め設計
	詳細図作成C	施工中用排水構造物
	詳細図作成D	施工後用排水構造物
	詳細図作成E	防雪工

工事発注用図面作成	図面修正 A 1	西山トンネル標準断面図 西山トンネル排水工詳細図
	図面修正 B 1	西山トンネル排水工詳細図
設計打合せ		

1-8-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-2-2 に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、調査等打合簿に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-1-4-3 に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いを受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1-9 打合せ簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-2-2 に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

1-10 工事記録情報の作成及び提出について

受注者は共通仕様書 1-4-4-1 に規定に従って、「工事記録収集システム」へデータ入力を行うものとする。また、業務完了までに「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」を完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。工事記録収集システムに関する問合せ先は、当社が協定締結した「保全点検業務等の実施に関する協定」に規定する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

1-11 三者協議会について

本調査等の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事に受注者が協議して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途監督員及び受注者並びに予定工事の受注者との協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

1－12 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1－12－4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書1－3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

（1）受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内

（2）登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内

（3）完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の概要

本業務は、三川～安田間の4車線化工事に伴うトンネル掘削土について、参考図に示す重金属等含有土の封じ込め候補箇所における重金属等含有土に対する封じ込め設計をおこなうものとし、さらにその候補箇所を含めた盛土候補箇所における工事用進入路の検討および設計をおこなうものである。加えて、盛土候補箇所における擁壁工の設計について行うものである。

また、西山トンネルⅡ期線掘削に伴い西山トンネルⅠ期線の湧水量が減少する懸念より、西山トンネルⅡ期線掘削施工中の湧水を参考図に示すⅠ期線取水槽の防災本管へと取り廻す方法の検討および設計を行うとともに、西山トンネルⅡ期線完成後の中央排水をⅠ期線取水槽へと取り廻す用排水設備の設計を行うものである。

2-2 附帯工設計

2-2-1 現地踏査

本業務における現地踏査は共通仕様書5-5附帯工設計に準拠し下表のとおりとする。

道路設計の種別	発注の区分	設計する附帯構造物の合計箇所
附帯構造物設計	単独発注	8箇所以上

2-2-2 擁壁工設計

擁壁工設計は、下表に示す箇所について行うものとする。

また、設計を行う際は擁壁種別を4案程選定し、経済性、擁壁工の施工性等を比較した上で決定するものとする。なお、備考に示す詳細図作成Bの対象箇所については、重金属等対策工の施工性、重金封じ込め可能量等についても比較検討した上で決定するものとする。

番号	擁壁工設計の項目	測点	擁壁種別	断面区分	延長等(m)	設計区分	断面数	備考
1	A	STA. 788+20 ～ 791+88	大型ブロック積擁壁	基本断面	368.0	概略一般図作成後の詳細設計	1	詳細図作成B対象
2	B	STA. 791+95 ～ 794+67	大型ブロック積擁壁	基本断面以外	272.0	概略一般図作成後の詳細設計	1	詳細図作成B対象

3	B	STA. 794+72 ～ 795+75	大型ブロック積擁壁	基本断面以外	103.0	概略一般図作成後の詳細設計	1	詳細図作成B対象
4	B	STA. 797+60 ～ 799+19	大型ブロック積擁壁	基本断面以外	159.0	概略一般図作成後の詳細設計	1	詳細図作成B対象
5	B	STA. 799+26 ～ 800+40	大型ブロック積擁壁	基本断面以外	114.0	概略一般図作成後の詳細設計	1	詳細図作成B対象
6	B	STA. 801+5 ～ 802+31	大型ブロック積擁壁	基本断面以外	126.0	概略一般図作成後の詳細設計	1	詳細図作成B対象
7	B	STA. 802+38～ 803+55	大型ブロック積擁壁	基本断面以外	117.0	概略一般図作成後の詳細設計	1	詳細図作成B対象
8	B	STA. 900+60～ 902+00	大型ブロック積擁壁	基本断面以外	140.0	概略一般図作成後の詳細設計	1	
9	C	STA. 899+80～ 900+60	補強土壁	基本断面	80.0	概略一般図作成後の詳細設計	1	
10	D	STA. 937+40 ～ 938+00	補強土壁	基本断面以外	60.0	概略一般図作成後の詳細設計	1	

2-2-3 詳細図作成A

共通仕様書 5-5-4 詳細図作成に以下の文章を追加する。

詳細図作成Aとは下表のとおり行う、西山トンネル起点側坑口および盛土候補箇所への工事用進入路の工事実施に必要な詳細図作成及び数量算出をいう。

なお、下表にて備考に4tダンプと記載している対象箇所については、参考図に示す積替え場にて10tダンプから4tダンプへと積替えて進入するものとする。

項目	難易度 区分	図面種別	進入路 設置箇所	対象箇所	備考
設計協議説明図作成	複雑	工事用進入路詳細図	一般道路	西山トンネル起点 側坑口	10 tダ ンプ
設計協議説明図作成	複雑	工事用進入路詳細図	一般道路	STA. 788+ 20 ～早出川橋	10 tダ ンプ
設計協議説明図作成	複雑	工事用進入路詳細図	一般道路	早出川橋 ～新関橋	10 tダ ンプ
設計協議説明図作成	複雑	工事用進入路詳細図	一般道路	新関橋 ～STA. 831 +53	4t ダン プ
設計協議説明図作成	複雑	工事用進入路詳細図	一般道路	STA. 862+ 80 ～能代川橋	4t ダン プ
設計協議説明図作成	複雑	工事用進入路詳細図 施工ステップ図	高速道路	能代川橋 ～STA. 833 +40	10 tダ ンプ
設計協議説明図作成	複雑	工事用進入路詳細図	一般道路	STA. 833+ 40 ～川結橋	4t ダン プ
設計協議説明図作成	複雑	工事用進入路詳細図	一般道路	川結橋 ～上浦橋	4t ダン プ
設計協議説明図作成	複雑	工事用進入路詳細図 施工ステップ図	高速道路	上浦橋 ～新津西SIC	10 tダ ンプ
設計協議説明図作成	複雑	工事用進入路詳細図	一般道路	新津西SIC ～荻川橋	4t ダン プ
設計協議説明図作成	複雑	工事用進入路詳細図	一般道路	荻川橋 ～小阿賀野川橋	4t ダン プ
設計協議説明図作成	複雑	工事用進入路詳細図 施工ステップ図	高速道路	小阿賀野川橋 ～STA. 936 +60	10 tダ ンプ

設計協議説明図作成	複雑	工事用進入路詳細図	一般道路	STA. 939+20 ～STA. 940+20	4t ダン プ
-----------	----	-----------	------	-----------------------------	---------------

2-2-4 詳細図作成B

共通仕様書5-5-4詳細図作成に以下の文章を追加する。

詳細図作成Bとは、参考図に示す重金属等含有土封じ込め候補箇所における、重金属等封じ込め設計を下表に示すとおり行うものをいう。

なお、本特記仕様書1-5資料の貸与に記す「磐越自動車道 長谷地区土質調査」の結果を基に、「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル（2023年版）」中の「表-2. 1. 2 本マニュアルにおける発生土の区分と、それらの特徴および盛土等に利用する場合の配慮」から、土の区分ごとに対策工図面作成を行うものとする。

設計区分	作成難易度	重金属等含有土封じ込め候補箇所	土の区分	図面種別
設計協議説明用図面作成	複雑	候補地① STA. 788+20 ～早出川橋	要対策土（酸性土） 搬出時管理土	平面図 横断図 盛土表面排水工平面図 盛土内排水工平面図
設計協議説明用図面作成	複雑	候補地② 五泉PA（上）	要対策土（酸性土） 搬出時管理土	平面図 横断図 盛土表面排水工平面図 盛土内排水工平面図

2-2-5 詳細図作成C

共通仕様書5-5-4詳細図作成に以下の文章を追加する。

詳細図作成Cとは、西山トンネルⅡ期線掘削施工中の湧水を、参考図に示すⅠ期線の取水槽の防災本管へと接続する用排水構造物の工事实施に必要な詳細図作成及び数量算出をいう。

項目	難易度区分	備考
用排水工詳細図作成	普通	西山トンネルⅡ期線起点側坑口 ～ 西山トンネルⅠ期線終点側坑口

2-2-6 詳細図作成D

共通仕様書5-5-4詳細図作成に以下の文章を追加する。

詳細図作成Dとは、西山トンネルⅡ期線完成後の中央排水を、参考図に示すⅠ期線取水槽へと接続する用排水構造物および、終点側坑口円形水路からの用排水構造物（埋設ますおよび油水分離ますを含む）の工事实施に必要な詳細図作成及び数量算出を下表のとおり行うことをいう。

項目	難易度区分	備考
用排水工詳細図作成	普通	西山トンネル終点側 坑口付近

2-2-7 詳細図作成E

共通仕様書 5-5-4 詳細図作成に以下の文章を追加する。

詳細図作成Eとは、西山トンネル坑口付近のⅠ期線とⅡ期線間の沢部雪崩から、2-2-6にて作成した用排水構造物を防護するために必要な、防雪工の工事実施に必要な詳細図作成及び数量算出を下表のとおり行うことをいう。

なお、防雪工については、雪崩誘導工、雪崩減勢工、スノーシェッド等の工法比較検討の上決定するものとする。

項目	難易度区分	備考
のり面工詳細図作成 (防雪工)	普通	西山トンネル終点側 坑口付近

2-3 工事発注用図面作成

2-3-1 図面修正

共通仕様書 5-1 1-1 に記載の図面修正の種別に下表を追加する。

種別	図面の修正率	図面の区分	備考
図面修正 A 1	10%未満	西山トンネル標準断面図 西山トンネル排水工詳細図	比較的簡易
図面修正 B 1	30%未満	西山トンネル排水工詳細図	比較的簡易

2-4 設計打合せ

本業務における打合せの回数は、中間打合せ2回、業務内容確認検査1回、完了検査1回の合計4回とする。打合せの検閲数量は1式とし、履行状況により打合せ回数が増減しても打合せ費用の変更は行わないものとする。ただし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取り扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2-5 成果品

報告書の表紙は、薄青色（SP278 1/2）、黒文字製本とする。

第3章 補足事項

3-1 調査内容の変更及び追加について

下記に示す事項については、本業務に変更・追加する可能性があるので、受注者は監督員と綿密な連絡をとると共に、これについて、監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとし、これらに要する費用は発注者と受注者とで協議し定めるものとする。

- (1) 関係者協議及び現地踏査に基づく数量の変更及び追加
- (2) 2-2-2 擁壁工設計の比較検討結果による擁壁種別の変更
- (3) 盛土候補箇所の変更に伴う2-2-3 詳細図作成Aの数量の変更及び追加
- (4) 重金属等含有土の封じ込め候補箇所の変更に伴う2-2-4 詳細図作成Bの数量の変更及び追加

(別添1)

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 支社（事務所）
支社長（所長） 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

(調査等名)

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2-1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

2-2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

3-1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3-2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3-3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

(3-2. 受注者が設定した業務の終期)

以上